教育かわら版
# こんにちは教育委員会です
ふたたび
No.１９６
２０２３（令和５）年１１月２４日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

## 今金っ子わくわくフェスティバル2023

### 第4回いまかねエッセイ（作文）コンテスト

11月12日(日)



文章の巧みさ、センス、そして読みでの間の取り方。丹精込めて書いた者にしか分からない美しい空間。時の流れ。

そんな思いが伝わってくる、心の落ち着く時間でした。



この子たち、この方たちが、これを機会にまた心豊かな人生を送ってくださいますように。

そんなことを考える、幸せな授賞式・発表会でした。



４年目を迎えたエッセイ（作文）コンテスト。毎年春に読書と作文のまちプロジェクトチームからテーマが示され、１年生の部、２年生の部、３・４年生の部、５・６年生の部、中学生の部、高校生以上一般の部で応募をいただきます。

今年のテーマは『想い出　～心に残る名シーン　人・物・言葉～』４月末から募集を開始し、締め切りは８月末としました。

その目的は、「学校・家庭・地域（団体）・行政が一体となった取組や学びの成果を発揮する場として、町民からエッセイ（作文）を募集、審査し、作品の価値を高める取組を通して児童・生徒・町民に読書（input）と作文（output）への関心を深め、学力向上、人間力向上に結びつける」と事業開催要項にあります。

審査は１７名のプロジェクト委員と校長会・教育委員さんにお願いし、最終審査は審査委員長のプロジェクトチーム委員長、私と写真絵本作家の小寺卓矢先生が担当しました。小寺先生には今金町教委がこれまでもずっとお世話になってきました。この事業に関してはプロの作家として審査のバックボーンにお願いしております。

各学年部門、入賞は最優秀１作品、優秀１作品、奨励賞２作品、特別賞１作品の５点。最優秀作品は小寺先生撮影の映像と BGM を合わせ、わくわくフェスティバル会場で音読発表をします。今年は一般１０作品を含め総数２９６作品の応募をいただきました。子どもたちは夏休みの課題として学校にお願いしております。今年は各年代の一般の方から応募をいただき、とてもうれしく感じておりました。

この先がすごく楽しみになってきました。感謝です。



















わくわくフェスティバルではワークショップいまかねや今金高等養護学校、陶芸同好会、青年会議やスポーツ推進委員会、泊川集学校、ダンスサークル、キッチンカーなど沢山の方々にお世話になりました。

ありがとうございました。